10/534752 Recid PCT/PTO 13 MAY 2005

特許協力条約

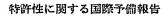
PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

REC'D	2 1 APR 2005
WIPO	PCT

出願人又は代理人 の書類記号 JSONY-451PCT	今後の手続きについては、	いては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。					
国際出願番号 PCT/JP03/13832	国際出願日 (日.月.年) 29.10	. 2003	優先日 (日.月.年)	20. 1	1. 2	002	
国際特許分類 (IPC) Int. Cl ⁷ G11C11/407							
出願人 (氏名又は名称) ソニー株式会社							
1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第57条 (PCT36条) の規定に従い送付する。 2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 5 ページからなる。							
2. この国族 7 開番 国 報告は、この表れを占めて主命で 3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a							
補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙(PCT規則70.16及び実施細則第607号参照)							
第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの 国際予備審査機関が認定した差替え用紙							
b 電子媒体は全部で							
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。							
 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎 第 II 欄 優先権 第 II 欄 優先権 第 II 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 第 IV 棚 発明の単一性の欠如 第 V 欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 							
							
国際予備審査の請求審を受理した日 24.03.2004	国際	予備審査報告を	 作成した日 20.03	3. 200	5		
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP 郵便番号100-8915)	庁審査官(権限 堀田	のある職員) 和義		5 N	8440	
東京都千代田区霞が関三丁目4	留託来長 033581-1101 内線 6840						



国際出願番号 PCT/JP03/13832

第I欄	報告の基礎						
1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。							
この報告は、							
2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。 (法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)							
×	出願時の国際出願登類						
	明細書 第 ページ、 出願時に提出されたもの 第 ページ*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 ページ*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの						
	請求の範囲 項、 出願時に提出されたもの 第						
	図面 第 ページ/図、出願時に提出されたもの 第 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 付けで国際予備審査機関が受理したもの 配列表又は関連するテーブル						
, ,	配列表に関する補充欄を参照すること。						
3. [_]	補正により、下記の書類が削除された。 財細書 第						
4.	この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。 (PCT規則70.2(c)) 明細書 第						
* 4.	に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。						



国際出願番号 PCT/IP03/13832

第V棚 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条 (PCT35条(2)) に定める見解、 それを取付ける文献及び説明 1. 見解 新規性(N) 請求の範囲 3-10, 12-14, 16-17請求の範囲 1, 2, 11, 15 進歩性(IS) 請求の範囲 4 - 10有 請求の範囲 1 - 3, 11 - 17無 産業上の利用可能性(IA) 請求の範囲 1 - 17有 請求の範囲 無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献 1: JP 2001-135080 A(松下電器産業株式会社)2001.05.18, 段落【0008】,【0009】,【0013】,第8図 & US 6349072 B1

文献 2: JP 8-255107 A(株式会社東芝)1996.10.01, 全文, 第3図

【請求の範囲1-2】

請求の範囲1-2に記載された発明は、国際予備審査で新たに引用した文献1の 段落【0008】,【0009】,【0013】及び第8図に記載されているので、新規性、進歩 性を有しない。

【請求の範囲3】

請求の範囲3に記載された発明は、文献1と国際調査報告で引用された文献2と により進歩性を有しない。

要求信号にかかるメモリセルのアドレスと、増幅器に一時保持されているデータ のアドレスとを比較してページヒットを判定するのは周知である。

【請求の範囲 4 -10】

請求の範囲 4-10に記載された発明は、文献 1、2に対して進歩性を有する。 文献 1、2には、要求されたメモリセルのアドレスと増幅器のデータのアドレス とを比較し、一致しないとき、電荷蓄積動作・電荷取り出し動作・入出力動作を 1 つの単独クロックを同期のタイミングとして一度にまとめて処理させるように指示 を出すことが記載されておらず、該構成によって、高効率なデータ処理を行えるよ うにするという有利な効果を奏するものである。

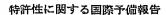
【請求の範囲11,15】

請求の範囲11,15に記載された発明は、文献2の第3図に記載されているので、 新規性、進歩性を有しない。

【請求の範囲12-14.16-17】

請求の範囲12-14, 16, 17に記載された発明は、文献1と文献2とにより進歩性を 有しない。

文献1の段落【0008】,【0009】,【0013】及び第8図に記載されているように、 周波数が低い場合に、リード/ライトサイクルとプリチャージサイクルを組み合わ せて、1つのサイクルとして処理することは、当業者にとって容易である。



国際出願番号 PCT/JP03/13832

L第VI棚	ある種の引用文献	

1. ある種の公表された文書 (PCT規則70.10)

出願番号 特許番号

 公知日
 出願日
 優先日(有効な優先権の主張)

 (日.月.年)
 (日.月.年)
 (日.月.年)

JP 2004-259318 A 16. 09. 2004 24. 02. 2003 E, X

2. 書面による開示以外の開示 (PCT規則70.9)

書面による開示以外の開示の種類

(日.月.年)_____

審面による開示以外の開示の日付 書面による開示以外の開示に言及している 魯面の日付 (日. 月. 年)



第四欄 国際出願に対する意見

請求の範囲、明細書及び図面の明瞭性又は請求の範囲の明細書による十分な裏付についての意見を次に示す。

- 1. 請求の範囲4には、「前記増幅器について当該情報記憶装置の外部に対する入 出力動作、前記メモリセルから前記増幅器までの電荷を取り出す電荷取り出し動 作の順番で、」と記載されているが、該順番は、逆でないかと思われる。 請求の範囲8についても、同様のことが言える。
- 2. 請求の範囲8に記載された「一致するとき」は、「一致しないとき」の誤記と思われる。
- 3. 請求の範囲10には、同期クロックの周波数に応じて、入出力動作と、電荷蓄積動作の順番が切り換わるかのように記載されているが、本願の発明を実施するための最良の形態の欄には、同期クロックの周波数に応じて、入出力動作と、電荷蓄積動作を、別のサイクルで行うか、同一のサイクルで行うかが切り換わる旨記載されており、両者の記載は整合がとれない。